

はじめに

この30年間で子育てを取り巻く環境は、大きく変化しました。とりわけ都市部では、核家族化や近所付き合いの希薄化などが進み、お子さんが急に体調を崩したときなどに、子育て経験の豊かな方に相談する機会が少なくなってきました。

このことは、軽症にもかかわらず、夜間や深夜の時間帯に救急診療を受けるお子さんが急増する状況となり、ひいては24時間の救急診療態勢を敷く本市中核病院(東海大学八王子病院・東京医科大学八王子医療センター)の小児科医への過度の負担にも繋がっています。このため、中核病院における小児救急医療体制が本来の形で機能し、入院治療を必要とするような重症のお子さんに十分な診療が行えるよう、現状を改善していくことが大きな課題となっています。

このパンフレット「小児救急のかかり方」は、みなさまに小児救急診療を受けるかどうかの目安にいただくために、一般社団法人八王子市医師会小児科部会の先生方の協力を得て作成されました。

日中に「かかりつけ医」を受診すべきか、夜間や深夜でも医療機関に行くべきか、それとも救急車を呼ぶべきかなど、迷ったときに活用していただければ幸いです。

このパンフレットの使い方




こどもの急な病気などで医療機関を受診するかどうか迷ったら、一番心配な症状のページを見てください。

症状の書いてある囲みの色によって、どのように受診したらよいかのアドバイスが示してあります。また、病気の説明やホームケアなどについて簡単に書いてありますので、参考にしてください。

もくじ

どんな時に救急車を呼べばよいのか	4 ~ 5
熱が出た	6 ~ 9
けいれん	10 ~ 11
腹痛・嘔吐・下痢	12 ~ 13
咳・喘鳴(ゼーゼーヒューヒュー)・息苦しい	14 ~ 15
赤ちゃんが泣きやまない	16 ~ 17
皮膚のブツブツ(発疹)	18 ~ 19
耳・目・鼻の異常	20 ~ 21
口の異常・頭をぶつけた・やけど	22 ~ 23
お腹をぶつけた・目をぶつけた・擦り傷・切り傷	24 ~ 25
誤飲	26 ~ 27
こどもの心肺蘇生術	28 ~ 29
自動体外式除細動器(AED)の使い方	30 ~ 31
こどもの事故予防	32 ~ 33
上手にお医者さんにかかるには	34 ~ 35
小児救急に関する情報(小児科)	36 ~ 37
小児救急に関する情報(外科・耳鼻咽喉科・眼科・歯科・その他)	38 ~ 39

囲み色の意味

-  あわてなくてもよいのですが、夜間の場合は翌日の診療時間内には必ず「かかりつけ医」に診てもらいましょう。
-  昼間は「かかりつけ医」へ、夜間は電話相談または救急診療所(P5、P36)を受診しましょう。
-  救急車を呼びましょう。もし、救急車を呼ぶかどうか迷ったら「#7119」(または042-521-2323)へ相談を!

救急車を呼ぶとき
発熱
けいれん
腹痛・嘔吐
咳・喘鳴
息苦しい
泣きやまない
発疹
耳・鼻の異常
口の異常
頭をぶつけた
やけど
お腹をぶつけた
擦り傷
誤飲
こどもの心肺蘇生
AED
こどもの事故予防
上手にかかると小児救急の情報